

## 中学部 1 年 生活単元学習(進路学習 C グループ)指導案

日 時：令和 5 年 12 月 12 日（火）13：15～14：35

場 所：中学部 1－2 教室

生 徒：男子 2 名、女子 5 名、計 7 名

指導者：工藤彩（T 1）、長谷部優子（T 2）

渡邊将太郎（T 3）、杉渕陽子（T 4）

### 1 単元名 中 1 おたすけたい ～こまっているひとのためにはたらこう①～

#### 2 生徒と単元（題材）

##### （1）生徒について

男子 2 名、女子 5 名、計 7 名の学習グループで、全員が本校小学部から中学部に入学してきた。教師や友達と簡単な言葉でやりとりをする生徒や、発声や身振り、表情等で気持ちを伝える生徒がいる。やりとりが受け身になりがちな生徒が多い。

着替えや排せつなどの日常生活に関わる身辺処理は、全員が部分的な支援や見届けが必要だが、ほとんどの生徒が自分のことを自分で行うという意識をもっており、支援を受け入れながら主体的に行動している。

初めての活動では気持ちが不安定になったり、自分勝手に行動してしまったりすることがあるがこれまでの学校生活を通して中学部の日課に見通しをもち、日課に沿って行動できるようになってきた。

##### （2）単元設定理由

1 年生の前期は、学級ごとに「ニュースくりた」という単元で新屋地域の町探検を通して分かったことを掲示物にまとめたり、発表したりした。同じ学習集団で繰り返し学習したことで、学級の友達や教師からの関わりを受け入れ、周囲と協力して自分の役割を果たした。後期からは「ニュースくりた②」の単元と進路学習の単元を並行して進めていく。進路学習の単元の冒頭では、学年全体で家での自分の役割や家族の役割について触れた。

社会の中で働くということについて、具体的にイメージを膨らませることは難しい学習集団ではあるが、係活動や委員会活動など学校の中での自分の役割や仕事には教師の支援を受けながら取り組むことができている。一方で、役割を果たす意味を考えたり、誰かの役に立っているという実感を得たりする経験は乏しく、受動的に活動している側面がある。そこで、様々な人と関わりながら役割を果たし、感謝される経験を積むことで、役に立っていることを実感し、働く喜びや仕事の楽しさを感じられるのではないかと考え本単元を設定した。また、働く喜びや仕事の楽しさを感じることで、社会の中で意欲的に役割を果たす、相手の立場に立って考える、最後まで責任をもって取り組む、などの姿を育てることができると考える。

##### （3）指導について

###### ①相手から頼られていることや、感謝されていることが実感できるような工夫

- ・事前収録した依頼相手からのメッセージ動画を流し、誰からどんなお願いがきているか具体的に確認する。
- ・依頼相手や活動先の職員から感謝の言葉を掛けられている場面を撮影し、振り返りで活用する。
- ・グループごとに依頼相手から確認カードに花丸やサインをもらい、振り返りの場面で共有する。

###### ②活動に見通しをもって、時間いっぱい取り組めるようにするための工夫

- ・「①職員室のごみ集めとごみ捨て」「②寄宿舎の廊下の清掃とごみ捨て」という二通りの活動を用意し、単元を通してそれぞれの活動に繰り返し取り組めるようにする。
- ・それぞれの活動の手順を写真で示した手順表を用意する。
- ・二つのグループに分かれて別々の場所で活動することで、十分な活動量を確保する。

###### ③意欲的に活動に取り組めるようにするための工夫

- ・中 1 おたすけたいの活動に誇りや使命感をもって取り組むことができるように、おたすけたいのロゴマークを考え、ロゴマークをプリントしたエプロンを身に付けて活動する。
- ・レベルアップスターと名付けた星型のシールを毎時間の振り返りで名札に貼り、少しずつレベルアップできていることを可視化する。

3 単元目標 知: 知識及び技能 思: 思考力・判断力・表現力等 学: 学びに向かう力・人間性等

- (1) 自分の役割や活動の手順が分かり、決められた手順でゴミ捨てや清掃などを行う。知  
 (2) 活動先で関わる人に注目したり、話を最後まで聞いたりして、相手の言葉掛けに適切に応じる。思  
 (3) 相手と関わりながら進んで活動に取り組んだり、時間いっぱい活動したりする。学

4 単元（題材）計画（総時間数 16 時間／本時 9、10 時）

時	学習内容（各教科内容） ※各教科等合わせた指導においては、合わせている教科の内容	学習活動	育成を目指す資質・能力 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">関</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span> )
1～2	職業・家庭 職業分野 A 職業生活 ア 働くことの意義 (イ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1おたすけたいの活動内容について知る。</li> <li>・中1おたすけたいのロゴマークを選んだり、ロゴマークをエプロンに貼り付けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気に入ったロゴマークを選択し、友達や教師に伝える。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> </ul>
3～14 (本時 9, 10 時)	職業・家庭 職業分野 A 職業生活 ア 働くことの意義 (ロ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えること。 (ウ) 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むこと。 生活 ※小学部 オ 人との関わり (イ) 身近な人との簡単な応対をするための知識や技能を身に付けること。 カ 役割 (イ) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けること。 国語 A 聞くこと・話すこと ア 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、分からないことを聞き返したり話のだいたいを捉えること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼を受けて、職員室のごみ集めやゴミ捨てを行う。</li> <li>・依頼を受けて、寄宿舎の廊下の清掃やゴミ捨てを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像や写真を見て、誰のためにどこのゴミ捨てや清掃を担当するのかを覚える。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・ゴミ捨てや清掃の手順が分かり、最後まで責任をもって行う。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・依頼相手や活動先の職員に挨拶や報告をする。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・依頼相手とのやりとりで、相手に注目したり、話を最後まで聞いたりする。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・依頼相手や活動先の職員からの言葉掛けに返事や身振りで応える。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・映像や写真を見て、活動を振り返り、自分の頑張りや相手のからの感謝の言葉に気付く。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> </ul>
15～16	生活 ※小学部 カ 役割 (イ) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな依頼を募集するアンケートや回収ボックスを作る。</li> <li>・アンケートを職員に配付する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分担された自分の役割が分かり、協力して制作する。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> <li>・次の単元に向けて期待感をもつ。<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">学</span></li> </ul>

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ捨てや清掃の大まかな手順や自分の役割が分かり手順に沿って活動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の近くで話を最後まで聞いたり、相手の言葉掛けに対して返事や返答をしたりする。</li> <li>「ありがとう」、「助かった」など相手からの肯定的な言葉掛けに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から活動に向かおうとしている。</li> <li>依頼されたことに責任をもち、最後まで取り組もうとしている。</li> </ul>

## 6 本時の計画

### (1) 本時のねらい

- 職員室や寄宿舎の職員に自分から声を掛けたり、相手の言葉掛けに返事や身振りで応えたりする。
- 自分が担当する活動やその手順が分かり、ごみ捨てや清掃に進んで取り組む。

### (2) 生徒のねらいと手立て (対象生徒部分は太枠で囲む)

No	氏名・性別	実 態	個別のねらい	手立て
1	A (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意が散漫で、気になることがあるとそちらに集中してしまい、やるべきことを忘れてしまうことがある。</li> <li>人と関わりたい、役に立ちたいという気持ちが強いが、緊張からやりとりの途中でその場を離れてしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ捨てや報告などの任された役割に責任をもって最後まで取り組む。</li> <li>自分から職員に声を掛けたり、職員の話最後まで聞いて返事したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたすけたいのメンバーを代表して報告をするという役割を依頼する。</li> <li>導入で、前時までに見られた望ましいやりとりの様子を動画で確認し、自信をもてるようにする。</li> <li>職員に声を掛けることを躊躇しているときは教師が手本を示したり具体的な文言を伝えたりする。</li> </ul>
2	B (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>話や板書、画像などに注目できると、自分の役割が分かって率先して活動できる。</li> <li>手本を示したり繰り返し練習したりすると、場面に応じて受け答えができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ捨ての活動の手順が分かり、自分で活動を進める。</li> <li>「失礼します。ごみはありますか。」など丁寧な言葉遣いで職員に声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順表を見て活動の流れを確認する時間を設ける。</li> <li>ごみ集めの活動に入る前に、やりとりの手本を示す。</li> </ul>
3	C (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の流れや自分の役割が分かると、落ち着いて活動に取り組むことができる。</li> <li>人と関わるのが好きで関わりを楽しむ。報告など決まった場面では丁寧な言葉遣いができるが、普段のやりとりではまだ難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄宿舎の指導員室のごみ集め、廊下の清掃、報告、ごみ捨てという活動の流れが分かり、自分から活動に取り組む。</li> <li>職員からごみ箱を預かったり、返したりするときに、「ごみはありますか」「終わりました」など丁寧な言葉遣いで話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の手順表を用意し、次の活動に迷った時に確認できるようにする。</li> <li>実際の活動場面で教師がやりとりの手本を示す。</li> </ul>
4	D (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し活動したり、手順表を見たりすると、流れが分かって一人で活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄宿舎の指導員室のごみ集め、廊下の清掃、報告、ごみ捨てという活動の流れが分かり、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の手順表を用意し、次の活動に迷った時に確認できるようにする。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れない場や相手に対しては、活動が止まったり、言葉が出なくなったりすることがあるが、親しい人と挨拶をしたり、自分から話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から活動に取り組む。</li> <li>空になったゴミ箱を職員に手渡すときに「終わりました」と相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の活動場面で教師がやりとりの手本を示す。</li> <li>やりとりをしながらゴミ集めをしている友達に注目を促す言葉掛けをする。</li> </ul>
5	E (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して取り組んでいる活動は、役割や流れを覚えており、周囲の様子が気になり活動から逸れてしまう時も、教師の言葉掛けや指さしで、やるべき活動に取り組む。</li> <li>相手との距離や関わり方に課題があるが、人との関わりを好み、言葉でのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄宿舎の指導員室前から女子棟のテレビの前までフローリングワイパーを使って2往復清掃する。</li> <li>清掃中にすれ違った相手に、「お疲れ様です」「こんにちは」など、適切な言葉で挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた気持ちで活動に取り組めるように学級の係で取り組んでいる活動や道具を取り入れる。</li> <li>適切な言葉遣いができるように、場面を捉えて正しい言葉を伝えたり、その場で言い直すような機会を設定したりする。</li> </ul>
6	F (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し活動したり、友達の様子を見たりして、流れが分かると一人で活動を進める。</li> <li>簡単な言葉での指示を理解し、発声や指さしで気持ちを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱のゴミをカートに捨て、空のゴミ箱をもとあった場所に戻す。</li> <li>職員からの感謝の言葉掛けに身振りやお辞儀で応える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員室の後方から前方に向けて順番にゴミ捨てをするように促す。</li> <li>「Fさん、ありがとう」というように、名前を呼んでから言葉を掛けてもらえるように事前に職員に依頼しておく。</li> </ul>
7	G (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しの活動や、やるべきことを短い言葉で伝えると、自分で活動に向かえる。</li> <li>人との関わりを好み、親しい人には自分から関わろうとする。促しに応じてお辞儀をしたり、「ありがとう」と話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱のゴミをカートに捨てる。</li> <li>職員から言葉を掛けられたら、相手を見てお辞儀をしたり、「ありがとう」と話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名前を呼び、ゴミ箱を指さして、「ここにありますよ」と言葉を掛ける。</li> <li>相手の方向へ手を差し出して注目を促し、教師が近くで一緒にお辞儀をしたり、「ありがとう」と話したりする。</li> </ul>

(3) 学習過程

時間 (分)	学習活動	教師の働き掛け、指導上の留意点
20	<p style="text-align: center;"><b>導入</b></p> <p>1. 依頼相手と依頼内容を知る。 2. 本時のめあてを知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて：自分から先生に話をしたり、相手を見て返事をしたりする。</p> <p>3. 役割分担を知る。 4. エプロンと名札を付ける。</p>	<p style="text-align: center;"><b>教師の働き掛け、指導上の留意点</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>囲み部分</b>は対象生徒の個別のねらいに対する手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼相手の写真やメッセージ動画を流し、誰からどんな依頼がきているか具体的に伝える。</li> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・前時までに見られた活動の様子の中から、よかった場面（職員に声を掛けている場面）と課題の場面（相手を見ていない場面）をピックアップし、その様子を動画で紹介してからめあてを発表する。</li> <li>・自分の活動場所と一緒に活動する友達が分かるように、写真を用いた活動表をホワイトボードに掲示しておく。</li> <li>・より意欲を高めて活動に臨めるように、全員で掛け声を掛けてから活動する。</li> </ul>
45	<p style="text-align: center;"><b>展開</b></p> <p>5. グループごとに活動場所に移動してごみ捨てや清掃を行う。</p> <p>○職員室グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室のごみ集め</li> <li>・ごみ捨て</li> </ul> <p>○寄宿舍グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員室のごみ集め</li> <li>・廊下の清掃</li> <li>・ごみ捨て</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【職員室グループ】</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>A</b>、B、F、G…T1、T2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・職員室に入室した際の挨拶の役割を大・遙に、活動の最後に行う報告の役割を豊・優に依頼する。</li> <li>・カートに取り付けた手順表をもとに活動の流れを簡単に確認する。</li> <li>・自分の役割に責任をもって取り組めるように、職員室の黒板側半分をAとBに、窓側半分をFとGにそれぞれ依頼する。</li> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・職員に声を掛けることを躊躇している時は、教師が手本を示したり、具体的な文言を伝えたりする。</li> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・相手の職員の方を向いて最後まで話を聞いたり、返事をしたりするなど望ましい関わりの様子が見られたときに、相手から称賛してもらったり、星型のシールをもらったりできるように準備しておく。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【寄宿舍グループ】</b></p> <p style="text-align: center;">C、E、D…T3、T4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舍に到着した際の挨拶の役割と活動の最後の報告の役割を高・心に依頼する。</li> <li>・自分たちで活動を進められるように、手順表と報告カードを用意しておく。</li> <li>・個々のねらいや実態に応じて、廊下掃除とごみ集めの役割を分担する。</li> </ul>
15	<p style="text-align: center;"><b>まとめ</b></p> <p>6. グループごとの活動の様子とやりとりの場面を動画で見て振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が活動先の職員に声を掛けたり、返事をしたりしている場面、感謝の言葉を掛けられている場面、黙々と活動に取り組む場面などを中心に写真や動画を紹介し、取り組みを称賛する。</li> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・相手から感謝されていることを実感できるように、それぞれの依頼相手から花丸やサインをもらった確認カードを全体の場で紹介し、ホワイトボードに掲示する。</li> <li>・本時の活動を頑張った証として、一人一人の名札にレベルアップスターのシールを貼り、次時への意欲を高める。</li> </ul>

(4) 評価

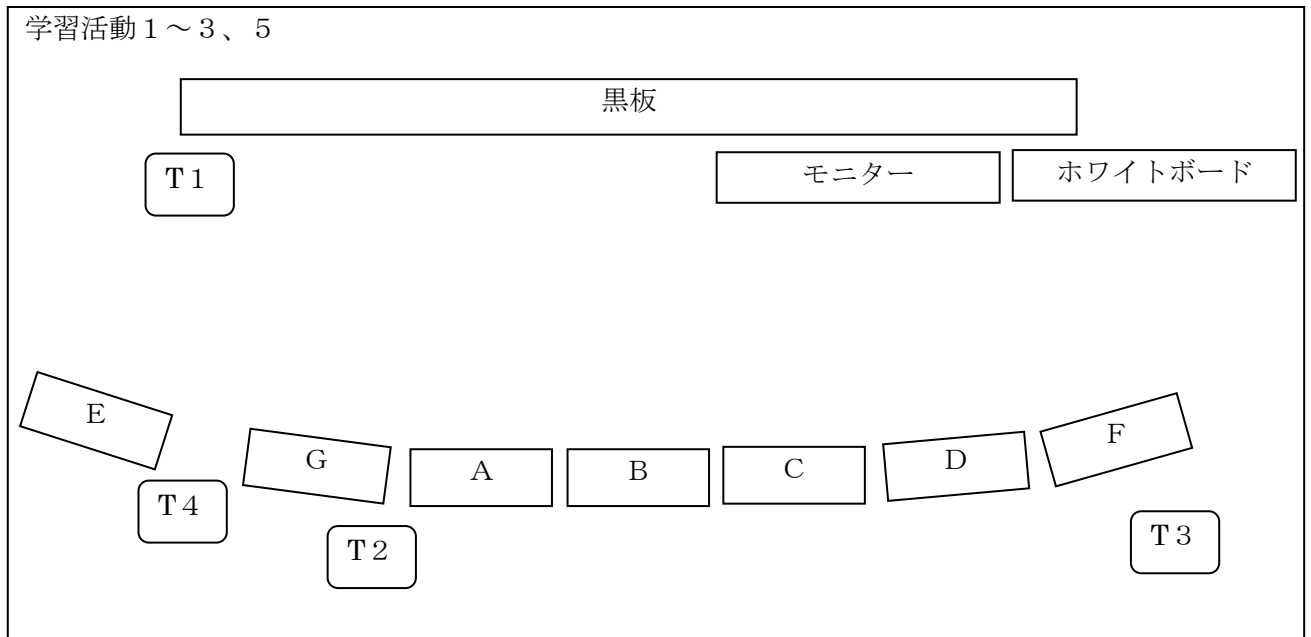
<生徒の評価>

- ・自分が担当する活動やその手順が分かり、ごみ捨てや清掃に自分から取り組んでいたか。
- ・職員室の職員に自分から声を掛けたり、相手の言葉掛けに返事や身振りで応えたりしていたか。

<教師の手立ての評価>

- ・生徒が活動を理解し、意欲をもって取り組むための導入のもち方や活動中の言葉掛けは適切であったか。
- ・生徒が職員室や寄宿舍の職員とやりとりをしながら活動するための言葉掛けや教材の工夫は適切であったか。

(5) 配置図



(6) 板書計画

# 中1 おたすけたい

## めあて

じぶんから先生にはなしをしたり  
あいてをみてへんじをしたりする。

## かつどう

1. 先生のはなし
2. エプロンとなふだのじゅんぴ
3. ごみすてとそうじ
4. ふりかえり

### <おたすけたいのがんばり>

	しょくいんしつ	きしゆくしゃ
1 1 / 3 0		
1 2 / 5		
1 2 / 7		
1 2 / 1 2		